

第22回(2019年度)

七十七
ニュービジネス
助成金

株式会社ワンテーブル



代表取締役
島田 昌幸 氏

●企業の概要

企業名：株式会社ワンテーブル
代表者：代表取締役 島田 昌幸
住所：宮城県多賀城市八幡字一本柳
117-8
設立年：2016年
業種：食品製造業
資本金：85百万円
従業員数：22名

●事業の概要

当社は、防災に関する食料品の企画・製造・販売を手掛ける食料品製造業。東日本大震災の経験を踏まえ約6年の年月を費やし、防災備蓄食業界初のゼリー備蓄食「LIFESTOCK」を開発、宮城から新たな産業創出を目指している。



工場

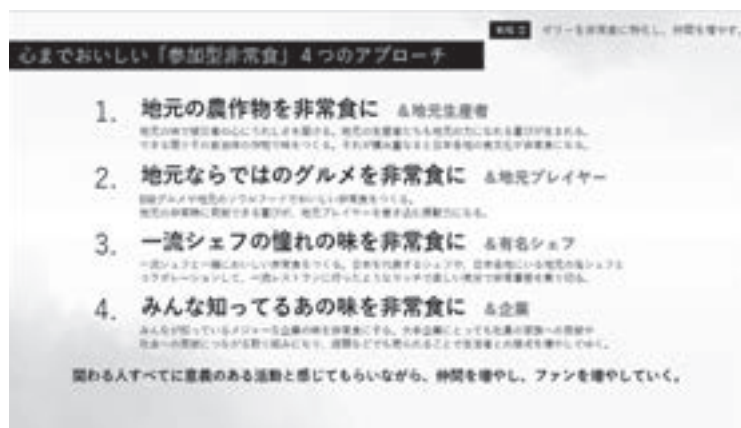


JAXAとのパートナーシップ提携

防災備蓄食業界初のゼリー型備蓄食を開発、地域活性化と新防災産業の創造を目指す



備蓄型ゼリー



●受賞の理由

防災備蓄食業界は定期的な需要に支えられているが、国内で頻発する自然災害の影響もあり、市場規模は拡大傾向にある。一方その中身は、カロリー摂取を目的とする米飯類や乾パン、クラッカー類が7割を占め、企業の寡占化が進んでおり、市場への新規参入にあたっては5年以上の賞味期限が求められるほか、商品の新規性や独自性が求められるなど、参入の難易度は高い。

当社が開発した「LIFESTOCK」は防災備蓄食業界初のゼリー型備蓄食であり、災害直後といった電気・水・ガスが使えない状況でも食べることができ、水が不要なため咀嚼困難者への摂取が可能となるほか、保管場所や廃棄場所も省スペースとなる商品である。高度な充填技術と特殊な包装資材を使った包装技術により5年以上の常温保存を実現し、またカロリーのみならず様々な栄養素を摂取するためのレシピコントロール技術を駆使するなど、その機能性は非常に高く、商品の獨創性も高い。

また、本商品は「参加型非常食」のコンセプトを打ち出し、地元の企業や自治体と一緒に開発を行い、地域の食材を使った備蓄食を作り、それを地域で循環させまた開発するという取組みにより、本商品を備蓄食としての機能のみならず、地域の味を発信できる商品として位置付けており、地域全体の活性化が期待できる。

事業戦略としては、JAXA（宇宙航空研究開発機構）とのパートナーシップ提携を実現。災害地域と宇宙それぞれの知見を活かした“極限環境での食”の開発により、「防災宇宙食」の研究開発や新たな防災への取り組みも進めており、事業領域や公共領域において様々な価値創出を目指している。

現在防災備蓄ゼリー工場建設は完了し、2019年9月には販売を開始している。当社独自のネットワークと商品開発力で新たな市場を開拓していくその事業性は、これから成長が大いに期待される企業である。